

	<p>ため、事業全体では予算比66.4%だが、助成金収入の見込み額は予算比143.4%、寄付は80.6%等となっており、合計収入は予算とほぼ同額の見込みである。</p> <p>支出では事業収入が減額のため、事業支出の見込み額も抑えられており、結果、収支はほぼ予算どおりか多少の赤字となる可能性があるため、年度末まで事業参加への積極的な呼びかけ、ご支援のお願いなどできることはしていきたい。</p> <p>事務用消耗品費の増額は、当初予算にはなかったリユースPC (windows7版) の設置費や会計ソフトの購入、サーバー変更による年間使用料の支払いを含んでいる。</p> <p>今後の収入としては、資格更新のための研修や支援職研修の受講費、アクター担当費、支出としてはフィリップモリスジャパン社助成のグループ支援費、ブックレット印刷が高額のものである。</p>
<p>・E-ファンディングチャレンジ報告</p>	<p>事務局より報告が行われた。</p> <p>財団法人パブリックリソース財団が主催する第2回E-ファンディングチャレンジに「障がいのある子どもたちが安心して成長できる社会へ！」というプロジェクトに参加した。寄付は、2014年度におとな対象の地域セミナーを各地で開催する予定である。</p> <p>実施期間：2013年11月27日～12月27日 寄付金額：376,000円（実際にCCJへの入金される額は323,800円） （内訳：オンライン寄付42件348,000円だが、手数料差引後、CCJへの振込額は295,800円となる。CCJ口座への振り込み10件 28,000円） 報奨金：5,250円</p>
<p>・NPOパナソニックファンドによる助成事業(組織基盤強化)の経過報告</p>	<p>事務局より報告が行われた。</p> <p>「子どもの安心・自信・自由を行きわたらせる-CAPセンター・JAPAN大プロモーション計画-」として、2013年7月から取り組んできた。①積極的にプロモーションが行える環境の整備では、商業デザイナーにプロジェクトに加わっていただき、CCJリーフレットとCAPプログラムリーフレットを作成し、3月には印刷を行う。4月以降は、作成したリーフレットの使い方マニュアルを作成し、総会や各地で説明会を実施する予定。②安心指標・自信指標・自由指標の策定では、これまで理事会等で意見交換を行い、基礎データを集めてきた。2月以降、委員会を実施し、指標策定を検討していく。③社会発信力を強化するために担当の外部研修への参加を積極的に行っている。また、当初計画していたホームページのリニューアルは助成額が減額となったため、現在サービスグラントにウェブサイトプロボノを申請中である。</p>
<p>(3) RTC 関連報告 ・CAPスペシャリスト資格登録状況/資格更新のための必須研修受講状況</p>	<p>事務局より報告が行われた。</p> <p>資格更新研修受講状況として1月末現在、2013年度が猶予期間にあたる方で受講終了された方は50人(対象113人)、2014年4月更新対象者で受講終了者は109人(対象161人)である。2月下旬以降、5回の資格更新研修があるので、受講を積極的にご案内していく。</p> <p>資格更新研修の受講費についてはご意見をいただくこともあるが、場所に関わらず統一金額で実施することで、収支のバランスをとっている。今年度の平均受講者数は約13人/会場となっている。</p>
<p>・CAPネットワークとの交流について</p>	<p>ICAP、KCAPとは、年始のあいさつの交換を行った。</p> <p>J-CAPTAとは、11月にフィリップモリスジャパン社より「2014年度の助成申請の手続きにはいるので、各団体から申請書の提出(申請理由、役員・担当者名簿等)いただきたい」と連絡がきたため、連絡をとり書類を揃えた。また、JaSPCAN信州大会にて、J-CAPTAが担当した分科会「長野県内での児童養護施設でのCAPプログラム提供に関する報告」に、理事長と長谷が参加した。</p>
<p>・佐賀CAP連合について(佐賀県内のCAP実践)</p>	<p>佐賀県内のCAPプログラム提供は佐賀CAP連合を通して行ってきたが、今年度末でこの体制が3年となるため、2月22日に佐賀CAP連合をまとめてきたNPO</p>

	法人にじいるCAPとCCJで総会準備会を行う。県内の人材養成については、県内行政からも要望があるため、2014年度と翌年度に「子どもへの暴力防止のための基礎講座」を実施し、2015年度に「CAPスペシャリスト養成講座」を行う予定である。
【協議事項・審議事項】	
(1) 次期役員改選について	<p>12月に次期役員への意向を現理事に行ったところ、2人の理事より退任の意向が伝えられた。これをもって、次期役員候補者選出についての検討を行った。</p> <p>〈決議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今期で2人の内部理事が退任するため、次期役員改選につき、内部理事の公募推薦を募る。 ・理事会は、事務局より1人を新理事として推薦する。 ・新理事候補推薦の要件、スケジュールを承認する。 <p>【要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 内部理事として、活動実践を活かして、NPO法人CAPセンター・JAPANの運営のために貢献いただける方 ② CAPセンター・JAPAN理事会に参加可能な方。ただし、今後はスカイプ等を利用しての電子会議での参加もできるよう準備していくこととする。 <p>【新理事選任までの流れ】</p> <p>2月20日（木） 正会員より推薦者の受付開始（メールマガジンにてお知らせ） 3月20日（木） 正会員より推薦者の受付締め切り 4月12日（土） 2013年度第3回理事会にて審議後、理事候補として決定し、ご本人への確認を経て、総会議案として提出 5月25日（日） 第13回定時総会</p>
(2) CAP スペシャリスト養成講座の了解事項改定について	<p>2009年に修正を行って以来変更せずしてきたが、用語の統一や資格更新研修の項について加筆するなど現体制に即した了解事項に2014年度より変更したい旨、トレーニング委員会より提案が行われた。</p> <p>〈決議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度より、提案に基づき、CAPスペシャリスト養成講座の了解事項を修正する。
(3) 2014年度事業方針案と事業計画案について	<p>2014年度事業方針案と事業計画案について、事務局より提案が行われた。</p> <p>〈決議事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度事業方針案と事業計画案を承認する。
【その他】	
総会までのスケジュールについて	事務局の提案した総会までのスケジュール（決算理事会、議案作成、発送予定等）を確認した。
議事録署名人選任	家本理事、横山理事

議事要旨作成：長谷